■正誤表■

取付・取扱要領書

MS344-52009・MS344-52010

において、下記の通り誤記がありましたので

おわびして訂正いたします。

１ページ　構成部品一覧表　⑧と⑨の間

誤）以下、MS344-58002-NP

↓

正）以下、MS344-52010-NP

MS344−52009・MS344−52010
サイドスカート
取付・取扱要領書

この度はシエンタ用ＴＲＤサイドスカートをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記ＴＲＤサイドスカートの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■品番・適合一覧表

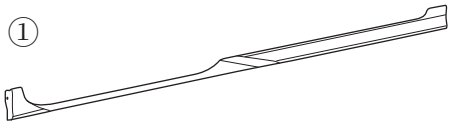
品番	塗装色	備考
MS344-52009-A1	ﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ（070）	全適合　'１５、７～
MS344-52009-C0	ﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶ（209）	
MS344-52009-D1	ﾚｯﾄﾞﾏｲｶﾒﾀﾘｯｸ（3T8）	
MS344-52009-J0	ﾌﾞﾙｰﾒﾀﾘｯｸ（8T7）	
MS344-52010-NP	未塗装品（ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理品）	

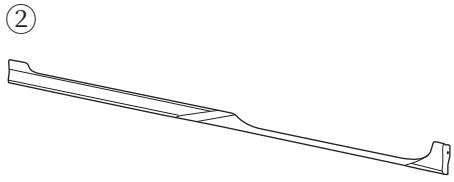
■構成部品一覧表

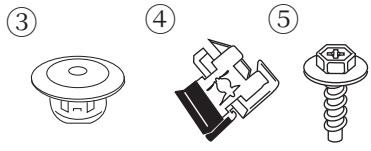
№	品　名	品　番	個数	備考
①	サイドスカートＲＨ		1	
②	サイドスカートＬＨ		1	
③	クリップ		10	
④	Ｊナット		4	6㎜
⑤	タッピングスクリュー		6	6×20
⑥	ラバーワッシャー		6	
⑦	型紙		1	
⑧	取付・取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

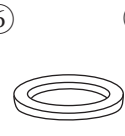
以下、MS344-58002-NP（未塗装品セット）のみに同梱

⑨	モール		(各2)	黒/グレー　L=1500㎜
⑩	モール		(各1)	黒/グレー　L=1550㎜
⑪	ＰＡＣプライマー		1	Ｋ−５００









以下、MS344-52010-NP（未塗装品セット）のみに同梱

トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002　横浜市港北区師岡町800番地　TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

■取付・取扱上の注意

この取付･取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
⚠ 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認　本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

⚠ 警告　取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。
不安定な場所での作業や､車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。

⚠ 警告　エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。

⚠ 警告　本商品への改造･加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。

⚠ 警告　取付け初期は、各タッピングスクリューが緩む恐れがあるので、数キロ走行後には必ず増締めを行ってください。

⚠ 警告　取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。

⚠ 警告　本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。

⚠ 警告　走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。
そのまま走行を続けますと、車両の破損や事故の原因となります。

⚠ 警告　本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。

⚠ 警告　本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。

⚠ 注意　本商品の交換･取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。

⚠ 注意　本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。

⚠ 注意　本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。

⚠ 注意　本商品の塗装・乾燥の際は、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

⚠ 注意　脱脂する際は、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、その他の溶剤は使用しないでください。

⚠ 注意　本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。

⚠ 注意　車両へのサイドスカートの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください｡また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。

⚠ 注意　両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意　お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。

⚠ 注意　取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■本商品は、１年・20,000Ｋｍの保証を実施致します。(１年または20,000Ｋｍ走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はＴＲＤパーツカタログサイト＜http://www.trdparts.jp/＞「保証について」をご覧ください。
■不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002　横浜市港北区師岡町800番地　TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

■未塗装品の取扱いについて

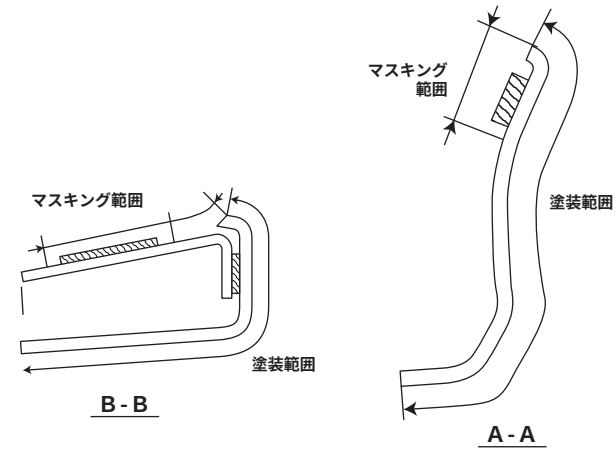
下記は、未塗装品(MS344-52010-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

□サイドスポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨを示しており、ＲＨも同様に行ってください。

1.図１のようにサイドスカートＬH②を塗装する。

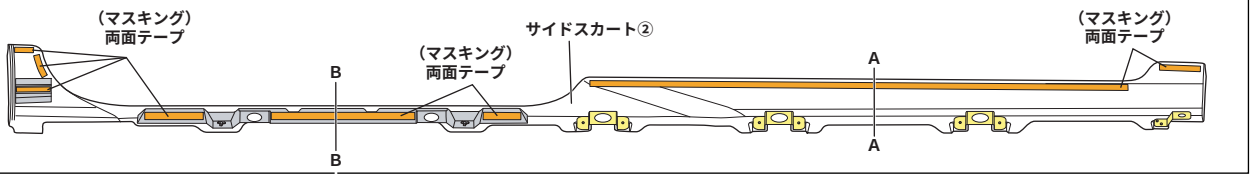
図1



⚠注意：脱脂をする場合は、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（以下ＩＰＡという）を使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

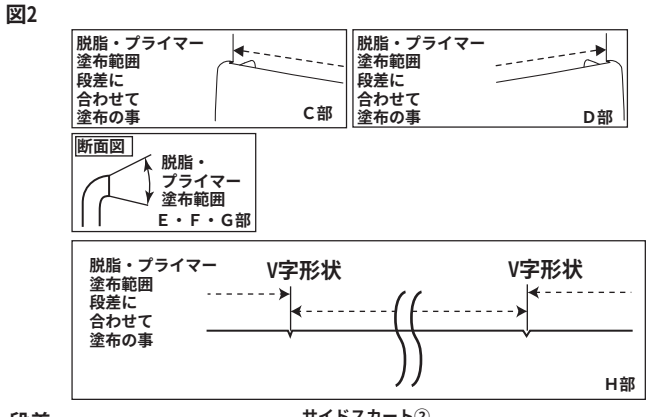


□モールの貼付け

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨを示して　おり、ＲＨも同様に行ってください。

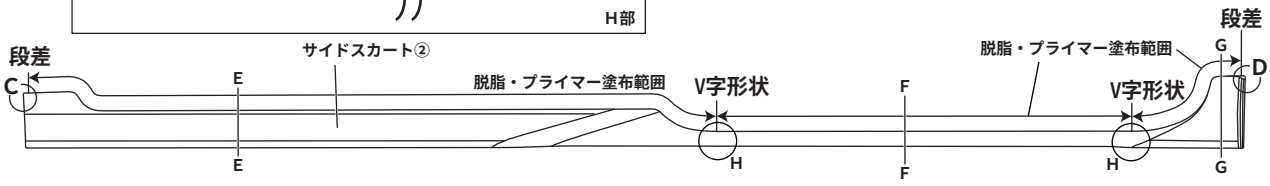
1.図２のようにモール貼付部の汚れを取り除きホワイトガソリン又はＩＰＡで一方方向にふいて脱脂し、ＰＡＣプライマー⑪を塗布する。

図2



⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

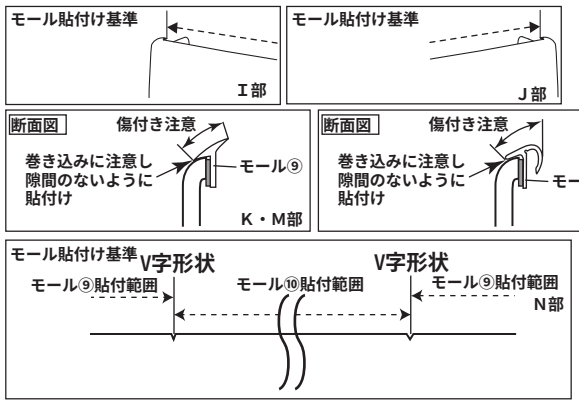
アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、１０分以上乾燥させてください。



Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002　横浜市港北区師岡町800番地　TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

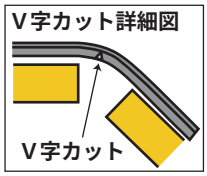
2.図３のようにサイドスカートＬＨ②にモール⑨⑩の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付けで圧着する。
｛４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上｝
モール⑨、⑩は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

図3



⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

⚠注意：モール⑪⑫は、二色ずつ同梱されています。塗装色に合わせて、モールの色を選択し貼付けてください。



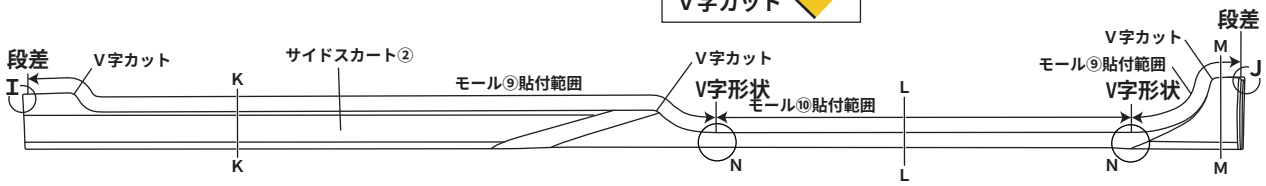
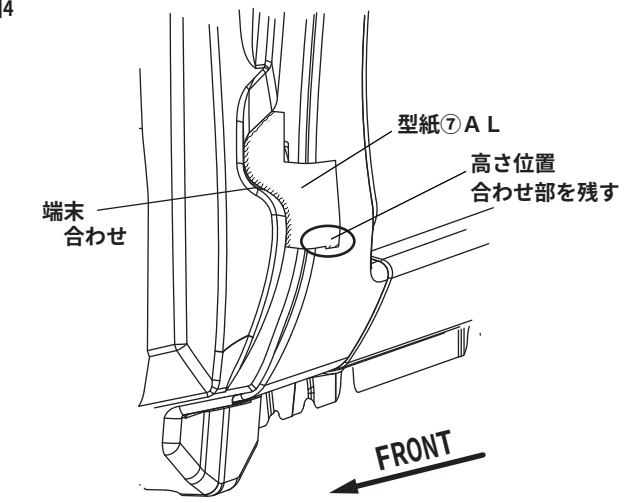
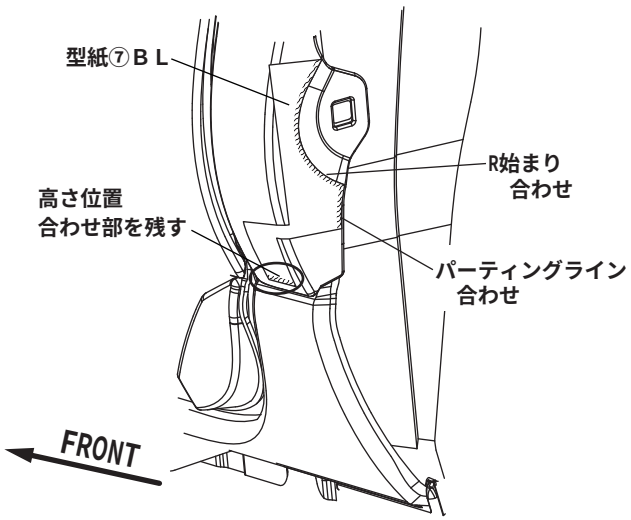


図4





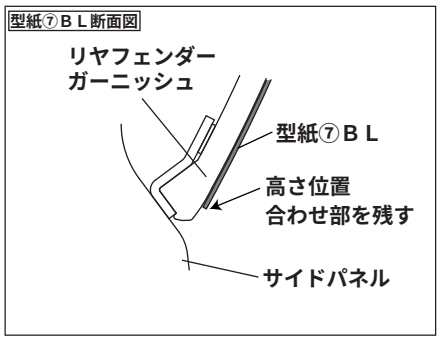
□取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨを示しており、ＲＨも同様に行ってください。

1.型紙⑦Ａ・Ｂを切り取りはがし、図４のように貼付けます。　（左右各２箇所）

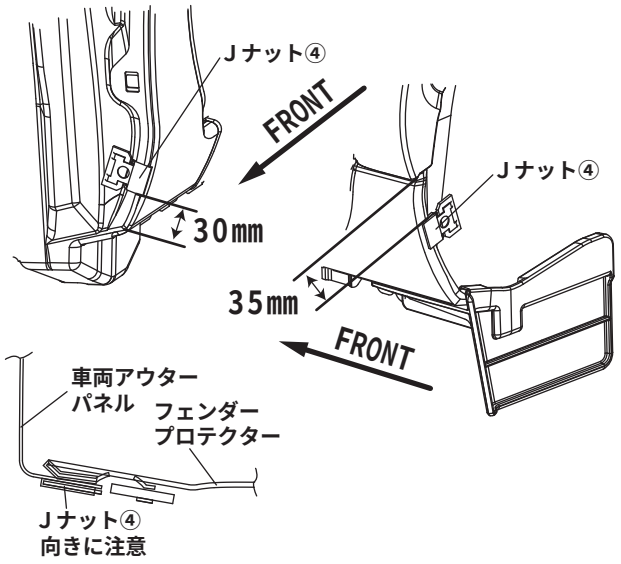
アドバイス：型紙⑦Ａを貼付けるさいに、車両部品を外して、剥がした後に復元してください。

2.型紙⑦Ａ・Ｂの高さ合わせ部を残し、他の部分は剥がす。　（左右各２箇所）



Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002　横浜市港北区師岡町800番地　TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

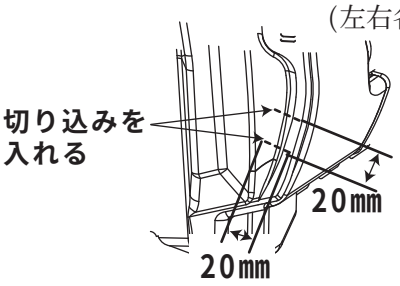
図5



3.図５のようにフロント側とリヤ側ホイルハウス部にＪナット④を差し込む。
(左右各２箇所)

⚠注意：図５のようにＪナット④の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー⑤が取付かなくなります。

4.下図のようにフロント側のインナーフェンダーにＪナット④の幅で切り込みを入れる。
(左右各１箇所)

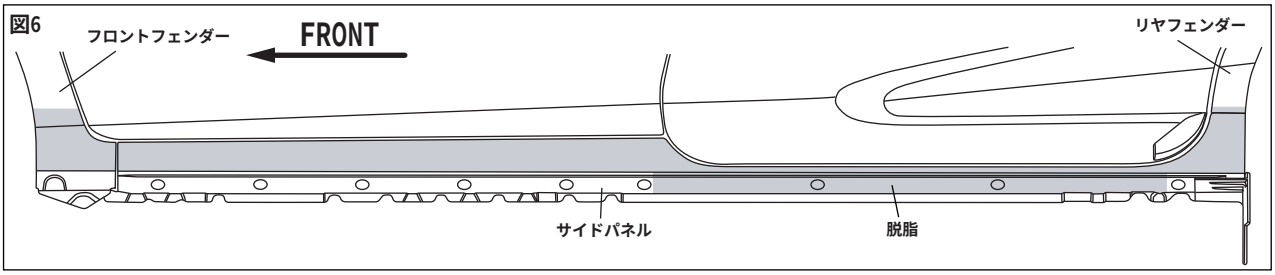


5.図６のようにサイドスカート②取付部の汚れを取り除き、ホワイトガソリン又はＩＰＡで一方向に拭いて脱脂する。

⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズを付けないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

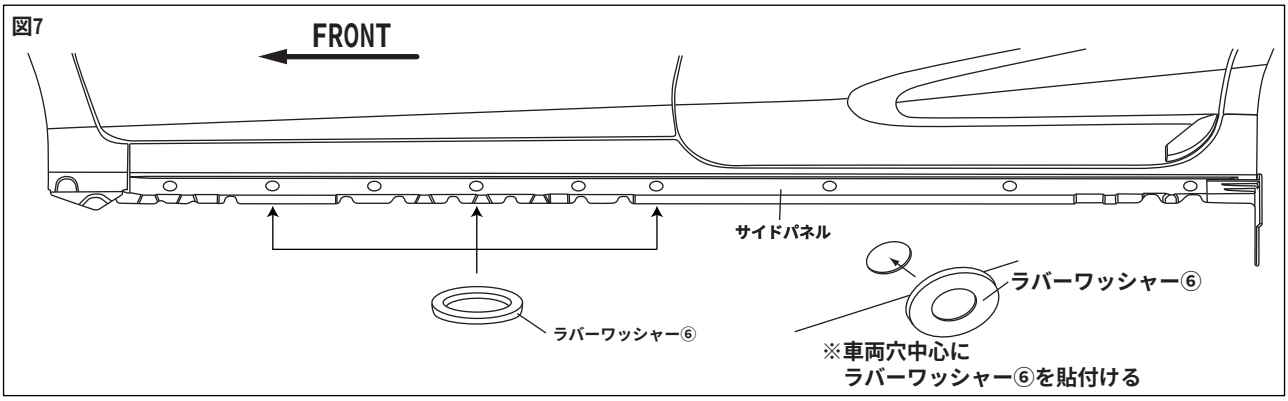
**⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。
油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。**

図6



6.図７のように車両前方から２番目、４番目、６番目の穴にラバーワッシャー⑥を貼付ける。
（左右３箇所）

図7

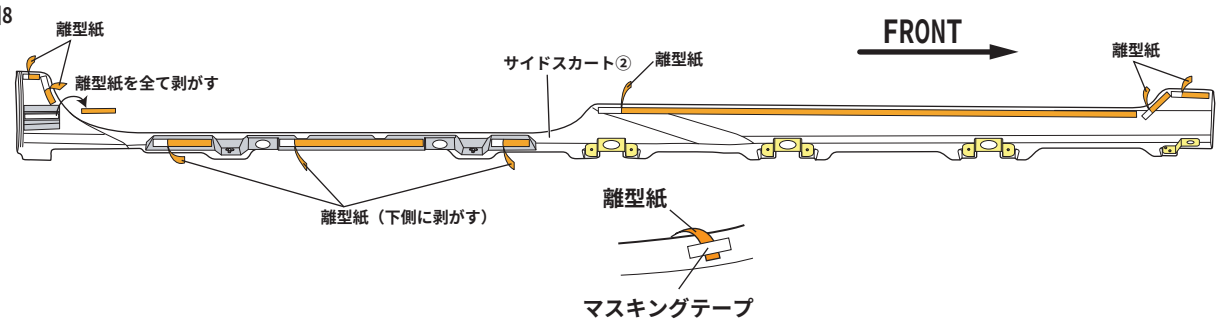


Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002　横浜市港北区師岡町800番地　TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

7.図８のようサイドスカート②の両面テープの離型紙を前側から後側に３０㎜剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。（左右９箇所）

⚠注意：指示部以外の両面テープの離型紙を全て剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図8

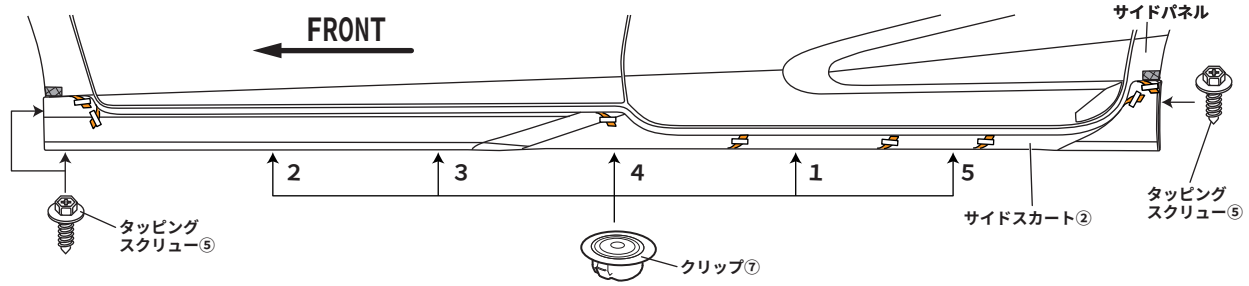


□取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨを示して　おり、ＲＨも同様に行ってください。

1.図９のようにサイドスカート②を車両に取付け、タッピングスクリュー⑤（左右各３箇所）を仮締めし、クリップ⑦(左右各５箇所)を下図番号順に取付ける。

図9



Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002　横浜市港北区師岡町800番地　TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

2.図10のようにサイドスカート②をリヤフェンダーに突き当て、高さを合わせ、両面テープの離型紙を下図番号順に剥がし(３～５は下から剥がす)ながら貼付け、確実に圧着する。
{４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上}

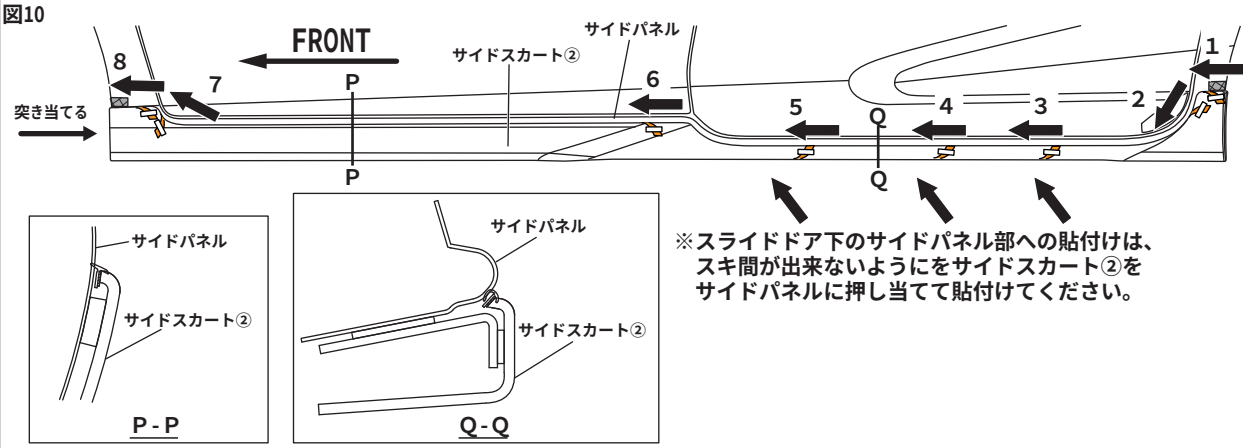
⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後２４時間以内は洗車しないでください。

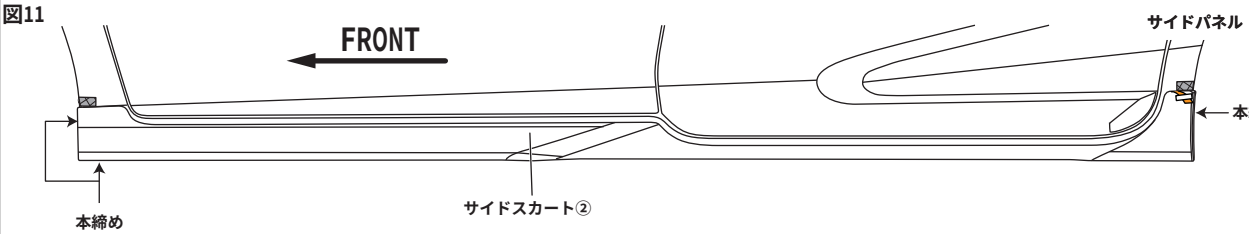
図10



3.仮締めしておいたタッピングスクリュー⑤を本締めする。（左右各３箇所）

4.高さ合わせの型紙を剥がす。（左右各２箇所）

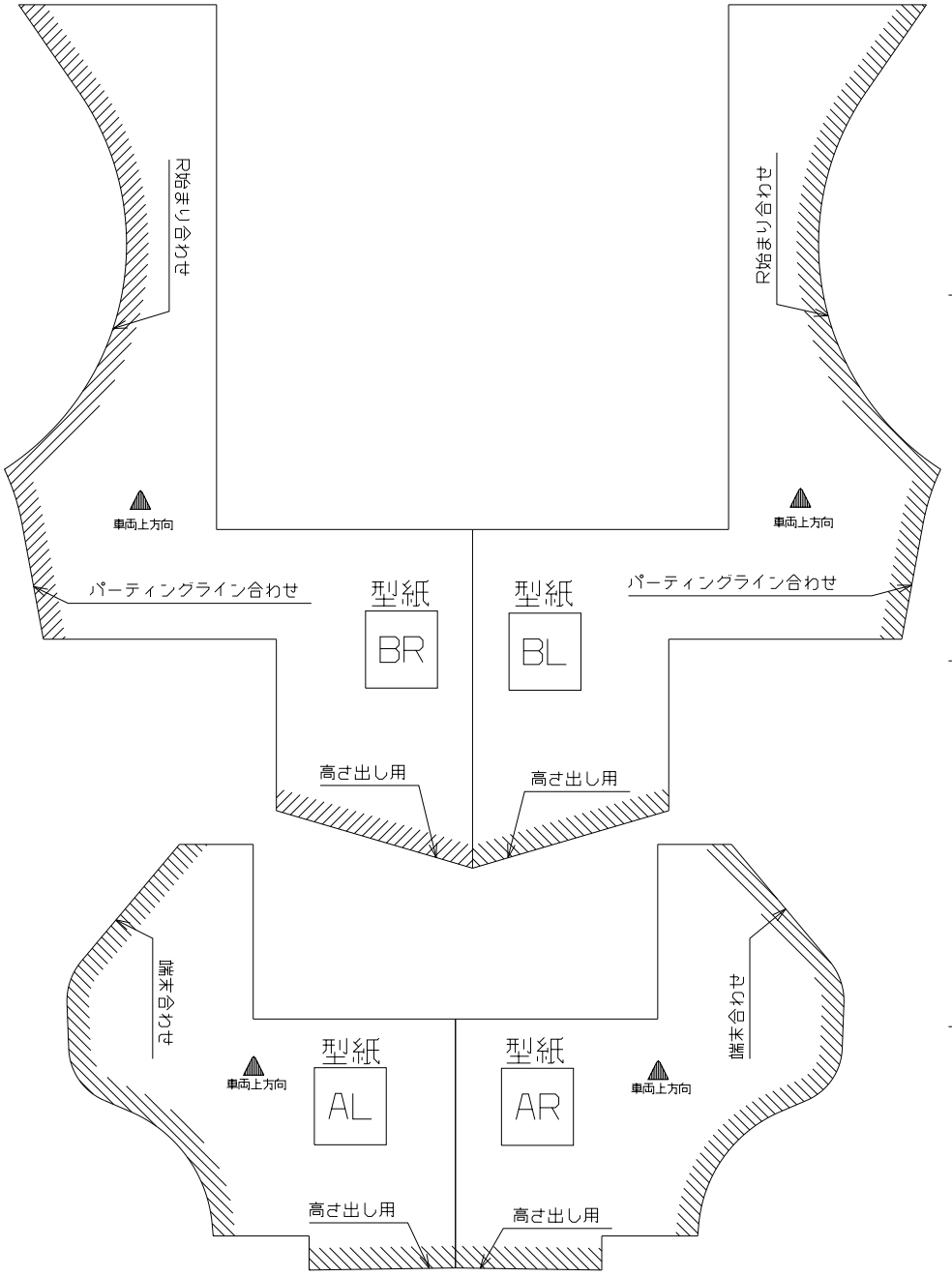
図11



■取付完了後の点検・注意事項

1．サイドスカートがタッピングスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2．サイドスカート及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3．製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002　横浜市港北区師岡町800番地　TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122



73-MS344-52009-A00

脱脂作業要領書

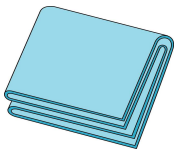
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

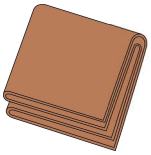
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

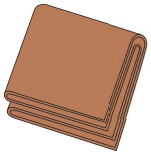
水拭き用バケツ


合成セーム皮

脱脂剤用
スプレーボトル

ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス

イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

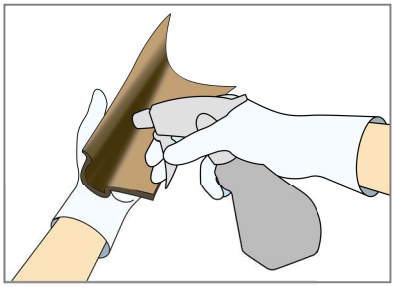
水拭き用バケツ

合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。

WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

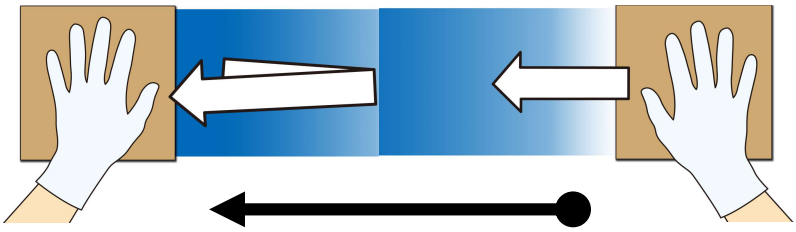


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

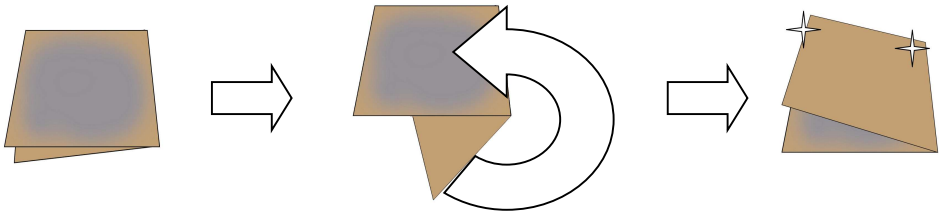
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。